



## 文学部講演会講師

2019年度 第1回

### 中島国彦氏

#### 〔略歴〕

1946年、東京都生まれ。早稲田大大学院文学研究科博士課程修了。博士（文学）早大。専門は日本近代文学。漱石・荷風・藤村・梶井基次郎などを中心に、近代文学を美術・音楽との関わりなどから幅広く研究。また、作品に描かれた風景表象を体系的に跡付けている。早稲田大学文学学術院教授を経て、現在は早稲田大学名誉教授、公益財団法人日本近代文学館専務理事。岩波書店版『白秋全集』『荷風全集』の編集委員もつとめる。

#### 〔主要著書〕

『近代文学にみる感受性』（筑摩書房、1994年、やまなし文学賞）

『夏目漱石の手紙』（共著、1994、大修館書店）

『漱石の愛した絵はがき』（共編、岩波書店、2016年）

『漱石の地図帳 歩く・見る・読む』（大修館書店、2018年）